

# 令和2年度 第1回 介護福祉学科 教育課程編成委員会 報告書

日時：令和3年2月1日（月）15：00～16：30

場 所：zoom 形式

## 参加者名

- 委員 大久保 佳世（社会福祉法人はるび 特別養護老人ホーム はるびの郷 施設長）
- 委員 佐々木 宰 （日本介護福祉学会・日本社会福祉学会）
- 教員 細野 真代 （介護福祉学科 学科長）
- 職員 萬崎 保志 （教務課 次長）
- 職員 星 朋美 （教務課 課長代理）
- 職員 丸山 航也 （教務課）
- 職員 松木 健太 （教務課）

## 議 題

### 1：出席者紹介

各委員より自己紹介があった。

### 2：職業実践専門課程の説明と教育課程編成委員会の概要（萬崎）

萬崎より、教育課程編成委員会の成り立ち、目的について共有があった。

#### 【職業実践専門課程の成り立ち】

専修学校の教育の質を担保する職業教育の高等教育化の推進という国の方針から始まっている。平成23年中央教育審議会の答申を受け、職業教育の質向上の政策の一施策として、文科省認定の職業実践専門課程が平成26年にできた。

#### ～職業実践専門課程の認定要件～

- ①企業等が参画する「教育課程編成委員会」を設置して、カリキュラムを編成している
- ②企業と連携して演習・実習等の授業を実施している
- ③企業等と連携して、最新の実務や指導力を修得するための教員研修を実施している
- ④企業等が参画して学校評価を実施している
- ⑤学校のカリキュラムや教職員等についてHPで情報提供している

### 【目的】

大きく3つに分けられる。

- ・現場のニーズを学校教育に反映させる
- ・カリキュラムの開発・教育改善を『連携』して行う
- ・一過性ではなく、継続的に取り組んでいく

### 【教育課程編成委員会について】

- ・年2回の開催が必須
- ・議事録をHPに公開すること
- ・外部委員の意見の反映状況についても公表することが求められている。

職業実践専門課程の認定校は、全国の専修学校の中で見ると37%、学科ごとに見ても41.3%にとどまっている。(令和2年3月時点)

福祉系の学科で見てもまだ4割程度にとどまっている。

佐々木) 介護や福祉などでは、企業という言葉に馴染みがないが、一般企業限定というわけではないとの理解でよろしいか？

萬崎) 一般企業だけに限定するわけではなく福祉分野では、施設や業界団体も含む。

## 3：学科概要（星）

星より学科概要について説明があった。

今年度の介護福祉学科は1年生83名 2年生49名でスタート。学科の内訳としては日本人、留学生、職業訓練生の大きく3つに属性が分けられる。

### 【留学生について】

近年は留学生の入学が増加傾向。1日3コマの授業を行っているが、留学生に関しては週に2回、4コマ目として日本語サポートの授業を実施している。留学生の問題点としては、退学・除籍の多さがあげられる。理由の多くは日本語学校時代のアルバイト時間超過による、ビザ申請の不許可などだが、入学前での発見が難しく課題となっている。

次年度も多くの留学生が入学予定だが、例年より語学力も落ちてきているという情報も受け、日本語サポートの教員と指導を始める準備を始めたところ。

### 【国家試験合格率について】

残念ながら下がってきているのが現状。他学科においては100%を目指し、全国1位の学

科もあるが、介護福祉学科でも高い合格率を確保できるよう対策を練っていききたい。

萬崎) 属性として日本人(高校卒業時に進学してくる学生)、留学生、ハローワーク経由で入学される職業訓練生の3つの属性がある。そのため教育水準を一つに絞れない難しさもある。

日本語レベルは異なるが、カリキュラムは全員同じように履修する必要があるため、日本語サポートをなど、学力の担保に苦勞している状況。

佐々木) 留学生に関してはコロナの影響で入国が危ぶまれた方もいたと思うが、入学者の人数を見る限り大丈夫だったのか。

萬崎) 最終的に2名入国できず入学できなかったが、そのほかは無事入学している。

#### 4:現状の課題と今後の協議テーマについて(細野)

##### 【課題① 留学生の学力アップについて】

～現在の取り組みと課題～

先ほどの説明でもあったとおり、近年、留学生を多く受け入れていることもあり、国家試験合格率が低下してきている。そのため、N2未滿の学生については放課後に日本語サポート教員で補講を実施している。しかし、日本語学校できちんと学んでいなかった学生は、中々上達していかない現状がある。

技能実習生(N4レベル)を受けれている施設もあると聞いているので、N4レベルの学生への指導方法や他校の学生を実習などで受けいれている中で、他校の留学生への日本語指導、語学指導など、効果的な指導方法を検討したい。

##### 【課題② オンライン授業と学内実習について】

～現在の取り組みと課題～

コロナウイルスの影響もあり、現在介護福祉学科では学内での代替実習を実施している。実習指導者に来校いただき、施設概要や職員構成、勤務構成、週間スケジュールなどを共有していただき、施設理解を深める取り組みをしている。またコミュニケーションに関する事例をもとに、利用者との関わり方を検討するグループワークを実施している。しかし、介護の特質として、利用者の疾患や特徴がイメージできないと、利用者への支援方法が想像できないため、利用者の経過観察や支援方法など具体的に考えることはできていない。また、介護福祉士の専門性が見えづらいため、現場を見ることで知識と役割を結びつけ理解を深めることも多いのだが、そこまではいたらない。

今後もコロナウイルスの影響は強く残る可能性が高いため、オンラインを活用し、何か体験をできるような方法がないか、施設、企業、学校が連携し検討していききたい。

### >課題① 留学生の学力アップについて

佐々木) EPA の受験対策などを行っている、N2 と N3 の差は大きいなと感じるところ。

萬崎) 来年度に関しては特に厳しくなると感じている。今年はコロナの影響もあり、日本語学校で思うように学べていない学生が多くいる。面接をしていても質問に対し苦しそうに悩んでいる学生が多い印象を受けている。語学力の底上げが必須となっていくとの認識。大久保委員の施設では外国人の採用は行われているか？

大久保) 現段階では採用していないが、今後は活用も検討はしている。留学生の実習生は受け入れているが、実習態度の良い学生は、すでにアルバイト先の施設に就職が決まっているケースが多い。

萬崎) 現場に就職する留学生の課題として、日本語力のほか、想定しうる問題点はあるか。

大久保) 近隣施設で多くの外国籍職員が勤務する施設があるが、運営上の困難さもあると聞く。お国柄もあるかと思うが、時間通りに業務が進行できなく、日本人職員も疲弊して退職するという悪循環も聞く。お国柄等、変えられないものが多い中で、どのようにつなげていくのか、非常に難しいもの課題だと感じている。言葉以外にもそういったところはハードルが高く感じている。

細野) ルール、マナーはずっと課題になっている。挨拶ができない、時間が守れない、提出物期限、ファイリングができないなど、学校生活だけでも留学生には課題が目立つ。日々一つずつ注意しながらやっているが、2年間でどうにか守れるようになってきている気はする。ただ日本人に比べるとまだまだと感じる。一緒に働きたいなと感じるような介護福祉士を養成しているが、まだ行き届いていないところもたくさんあると感じる。

佐々木) その課題が“外国人だから”なのか、“全員”なのか、属性毎に問題を整理できるとよいと感じる。また、学会の資料に目を通すと、留学生における介護という職(仕事)のメリットはなんなのか、留学生の将来のメリットとじてもらえるかどうかによって伸び方も異なると思われる。日本のルール、介護のルールを学ばせるうえでメリットを伝えられるとよい。

佐々木) 以前留学生のみのクラスを担当した際に『社会の理解』が難しいという声があった。日本の仕組みだけでなく、それぞれの国の仕組みを調べて発表してもらったが、新たな発見が多くありとても盛り上がった。日本はこうだと丸暗記させても面白くないと思うが、自国の制度と照らし合わせることで少し興味を持ち、一部の学生だが『社会の理解』の理解が深

まったという学生がいた。それをマナーやルールに置き換えたときに同じようなことが言えるかもしれない。

細野) 佐々木先生の話聞き、授業の中で EPA の人たちが日本で何年いることができ、どうしたら国家試験を受けられるのかという話をしたときに留学生が真剣に聞いていて、自分の身近な話題になると興味を持ったのを思い出した。また、自分の生活に関連しているものだと入りやすいと感じる場面もあった。

より理解しやすい話題をもとに話をしたり、日本と自国の違いを比較して伝えていくやり方も効果的だと感じる。

#### >課題② オンライン授業と学内実習について

大久保) まだ詳しい内容まで聞いていないが、職員を出して協力できることは喜ばしい。

細野) 1年生は施設を知る、施設を利用する利用者様にどのような方がいるのかを理解する、利用者とコミュニケーションを図るとというのが1段階の大きな目標になる。

現時点では各実習施設にお伺いすることはできないため、今回は学内での代替演習としたが、施設を知る、事例をだしていただき、学生がどのような対応、支援を行うのが介護職としてふさわしいのかのフィードバックを職員の方にしてもらおうと考えている。

#### **5: おわりに**

- ・第2回 教育課程編成委員会は 3月2日 15:00~16:30@zoomにて開催
- ・課題②オンライン授業と学内実習については第2回に持ち越し
- ・その他、次回は次年度テーマの検討を行う